



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社JCLバイオアッセイ 上場取引所 大
 コード番号 2190 URL <http://www.jclbio.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 靱山 邦男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名) 田中 雅樹 TEL 06(4863)5020
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	403	12.9	4	—	△101	—	△112	—
22年3月期第1四半期	357	—	△84	—	△94	—	△60	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	△34.05	—
22年3月期第1四半期	△18.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	4,078	1,142	28.0	345.74
22年3月期	4,358	1,308	30.0	395.68

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 1,142百万円 22年3月期 1,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	820	3.9	△23	—	△200	—	△204	—	△61.97	
通期	2,268	5.8	14	△92.3	△180	—	△275	—	△83.19	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 ()、除外 一社 ()

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

- ② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	3,306,000株	22年3月期	3,306,000株
23年3月期1Q	184株	22年3月期	105株
23年3月期1Q	3,305,860株	22年3月期1Q	3,306,000株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
	(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	3
	(1) 重要な子会社の異動の概要	3
	(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
	(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
	(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3.	四半期連結財務諸表	4
	(1) 四半期連結貸借対照表	4
	(2) 四半期連結損益計算書	6
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
	(4) 継続企業の前提に関する注記	9
	(5) セグメント情報	9
	(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4.	補足情報	10
	生産、受注及び販売の状況	10
	(1) 生産実績	10
	(2) 受注状況	10
	(3) 販売実績	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に回復の兆しが見られるものの、個人消費の低迷、雇用情勢も厳しい状況が続く、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループがサービスを提供している医薬品業界におきましては、後発医薬品の使用促進や長期収載品の薬価引き下げ等の医療費抑制政策、大型新薬の特許切れが相次ぐ「2010年問題」に直面するなか、「新薬創出加算」の試行導入等もあり、製薬会社にとって新薬開発はより一層重要な課題となっております。また、海外でのM&Aや研究開発拠点の海外シフト等により、グローバル化が進んでおります。

このような環境の中、当社グループは、国内においては引き続き人材育成に取り組み、販路拡大に注力してまいりました。また、米国においては早期の試験受託を目指し、試験に必要な設備の導入・調整、これと併行して研究員のトレーニングを順調に進めております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は403,098千円（前年同期比12.9%増）、営業利益は4,966千円（前年同期は84,904千円の営業損失）、経常損失は101,487千円（前年同期は94,882千円の経常損失）、四半期純損失は112,578千円（前年同期は60,697千円の四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループのセグメント別業績は次のとおりであります。

・ バイオアナリシス（西脇ラボ）

当第1四半期連結累計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおり終了できたこと、また、第2四半期以降に終了予定であった試験の一部を当第1四半期連結累計期間に終了できたこと等により、売上高は287,802千円、営業利益は31,082千円となりました。

・ バイオアナリシス（大阪ラボ）

当第1四半期連結累計期間に終了予定であった試験の一部において、終了時期が第2四半期以降に延期になったこと等により、売上高は53,653千円、営業損失は16,329千円となりました。

・ バイオアナリシス（米国ラボ）

現在開業準備中でありますので、売上高及び営業利益はありません。

・ 医薬品品質安定性試験

当第1四半期連結累計期間に終了予定であった試験の一部において、終了時期が第2四半期以降に延期になったこと等により、売上高は61,642千円、営業損失は9,786千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ279,921千円減少して4,078,550千円となりました。これは主に、現預金の減少258,421千円、売掛金の減少177,626千円、差入保証金の減少24,850千円、リース資産の増加85,510千円、及び仕掛品の増加103,095千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ114,780千円減少して2,935,604千円となりました。これは主に、前受金の増加25,103千円、リース債務の増加90,548千円、資産除去債務の増加13,734千円、未払金の減少149,288千円、長期借入金の減少33,933千円、及び未払法人税等の減少70,194千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ165,141千円減少して1,142,946千円となりました。これは主に、当第1四半期連結累計期間の純損失112,578千円の計上、及び配当金の支払16,529千円によるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、28.0%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ258,421千円減少し、1,104,343千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、25,893千円(前年同期比80.1%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上額110,106千円、減価償却費の計上額49,450千円、売上債権の減少額177,626千円、たな卸資産の増加額107,214千円、前受金の増加額25,103千円、及び法人税等の支払額71,608千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、154,773千円(前年同期比12.3%減)となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出176,798千円、及び差入保証金返還による収入23,472千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、67,263千円(前年同期比15.3%減)となりました。これは長期借入金の返済による支出33,933千円、配当金の支払による支出12,964千円、及びリース債務返済による支出20,325千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は想定どおりに推移しております。このため、当第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益は90千円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ90千円及び9,686千円増加しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は13,734千円であります。

② 表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,104,343	1,362,764
売掛金	209,151	386,777
仕掛品	375,028	271,932
原材料及び貯蔵品	42,719	38,642
その他	134,797	97,425
貸倒引当金	△1,029	△2,017
流動資産合計	1,865,010	2,155,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,100,539	1,118,505
土地	426,753	435,854
その他(純額)	574,341	512,771
有形固定資産合計	2,101,634	2,067,131
無形固定資産	10,862	11,526
投資その他の資産	92,251	115,155
固定資産合計	2,204,748	2,193,813
繰延資産	8,790	9,133
資産合計	4,078,550	4,358,471
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,313	36,417
短期借入金	630,000	630,000
1年内返済予定の長期借入金	135,732	135,732
未払法人税等	1,413	71,608
賞与引当金	51,032	—
受注損失引当金	60,071	50,036
その他	379,734	536,392
流動負債合計	1,294,297	1,460,187
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	733,036	766,969
退職給付引当金	101,961	96,844
役員退職慰労引当金	24,413	26,860
資産除去債務	13,734	—
その他	268,161	199,523
固定負債合計	1,641,306	1,590,197
負債合計	2,935,604	3,050,384

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,356	256,356
資本剰余金	271,455	271,455
利益剰余金	676,733	805,842
自己株式	△140	△100
株主資本合計	1,204,404	1,333,553
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△61,458	△25,466
評価・換算差額等合計	△61,458	△25,466
純資産合計	1,142,946	1,308,087
負債純資産合計	4,078,550	4,358,471

(2) 四半期連結損益計算書

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	357,184	403,098
売上原価	315,303	265,936
売上総利益	41,880	137,162
販売費及び一般管理費		
役員報酬	19,500	20,400
給料及び手当	25,703	27,912
賞与	170	—
法定福利費	4,972	6,289
賞与引当金繰入額	6,977	8,253
退職給付費用	2,221	2,362
役員退職慰労引当金繰入額	1,498	1,553
旅費及び交通費	4,630	2,309
保険料	2,446	2,687
支払手数料	11,875	12,834
減価償却費	1,303	1,001
研究開発費	14,016	22,045
その他	31,468	24,545
販売費及び一般管理費合計	126,784	132,195
営業利益又は営業損失(△)	△84,904	4,966
営業外収益		
受取利息	83	1
受取配当金	—	2
保険解約返戻金	51	338
受取手数料	—	3,049
その他	39	147
営業外収益合計	174	3,537
営業外費用		
支払利息	4,297	6,520
社債利息	—	1,558
社債発行費償却	—	342
為替差損	1,748	17,543
開業費償却	4,106	84,026
営業外費用合計	10,152	109,991
経常損失(△)	△94,882	△101,487
特別利益		
貸倒引当金戻入額	596	988
固定資産売却益	66	—
特別利益合計	662	988

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
特別損失		
固定資産除却損	418	—
固定資産売却損	—	11
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	9,595
特別損失合計	418	9,607
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,638	△110,106
法人税、住民税及び事業税	1,306	288
法人税等調整額	△35,247	2,183
法人税等合計	△33,940	2,472
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△112,578
四半期純損失(△)	△60,697	△112,578

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△94,638	△110,106
減価償却費	32,195	49,450
社債発行費償却	—	342
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	9,595
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△596	△988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,876	51,032
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△2,440	10,035
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△5,000	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,842	5,116
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,498	△2,447
受取利息及び受取配当金	△83	△3
支払利息	4,297	6,520
社債利息	—	1,558
固定資産売却損益(△は益)	△66	11
固定資産除却損	418	—
売上債権の増減額(△は増加)	91,873	177,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	△54,208	△107,214
仕入債務の増減額(△は減少)	39,501	△102
その他	35,949	△35,737
小計	27,667	54,690
利息及び配当金の受取額	96	3
利息の支払額	△4,275	△8,978
法人税等の支払額	△153,540	△71,608
営業活動によるキャッシュ・フロー	△130,052	△25,893
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△175,180	△176,798
有形及び無形固定資産の売却による収入	100	20
その他	△1,461	22,005
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,541	△154,773
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	260,000	280,000
短期借入金の返済による支出	△260,000	△280,000
長期借入金の返済による支出	△47,093	△33,933
配当金の支払額	△22,336	△12,964
その他	△10,026	△20,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,455	△67,263
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,698	△10,491
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△387,748	△258,421
現金及び現金同等物の期首残高	1,035,743	1,362,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	647,994	1,104,343

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

- ① 事業の種類別セグメント情報
当社及び連結子会社の事業は受託試験研究に関する単一の事業セグメントであるため、該当事項はありません。
- ② 所在地別セグメント情報
本邦の売上高が全セグメントの売上高の合計額に占める割合は90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。
- ③ 海外売上高
海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社は、受託試験を「バイオアナリシス」と「医薬品品質安定性試験」に区分しております。「バイオアナリシス」は、生体試料中薬物濃度測定のこと、主に製薬会社から非臨床試験、臨床試験の一部として試験を受託し、西脇ラボ、大阪ラボ及び米国ラボにて実施しております。「医薬品品質安定性試験」は、製剤、原薬の品質試験、保存安定性試験のこと、こちらも主に製薬会社から試験を受託し、西脇ラボにて実施しております。

したがって、当社のセグメントは、受託試験種類及び試験施設別から構成されているため、「バイオアナリシス(西脇ラボ)」、「バイオアナリシス(大阪ラボ)」、「バイオアナリシス(米国ラボ)」及び「医薬品品質安定性試験」の4つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	バイオアナリシス(西脇ラボ)	バイオアナリシス(大阪ラボ)	バイオアナリシス(米国ラボ)	医薬品品質安定性試験	計	
売上高						
外部顧客への売上高	287,802	53,653	—	61,642	403,098	403,098
計	287,802	53,653	—	61,642	403,098	403,098
セグメント利益又は損失(△)	31,082	△16,329	—	△9,786	4,966	4,966

(注) バイオアナリシス(米国ラボ)については、現在開業準備中でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績を、セグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
バイオアナリシス(西脇ラボ)	162,366	—
バイオアナリシス(大阪ラボ)	53,234	—
バイオアナリシス(米国ラボ)	—	—
医薬品品質安定性試験	50,335	—
合計	265,936	—

- (注) 1 当連結会計年度よりセグメント別に記載しているため、前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2 金額は、製造原価によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注実績を、セグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
バイオアナリシス(西脇ラボ)	307,571	—	1,014,164	—
バイオアナリシス(大阪ラボ)	24,934	—	318,903	—
バイオアナリシス(米国ラボ)	—	—	—	—
医薬品品質安定性試験	75,308	—	331,795	—
合計	407,815	—	1,664,862	—

- (注) 1 当連結会計年度よりセグメント別に記載しているため、前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績を、セグメント別に示すと次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
バイオアナリシス(西脇ラボ)	287,802	—
バイオアナリシス(大阪ラボ)	53,653	—
バイオアナリシス(米国ラボ)	—	—
医薬品品質安定性試験	61,642	—
合計	403,098	—

- (注) 1 当連結会計年度よりセグメント別に記載しているため、前年同四半期増減率の記載はしていません。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
武田薬品工業株式会社	145,466	40.7	144,324	35.8
大日本住友製薬株式会社	—	—	50,776	12.6

- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。